学科 学年	Ｍ２	科目 分類	地球環境学概論 Introduction to Earth Environmental Science	講義 必修	23後期 １単位	学習教育目標 1	担当	勝山智男 小林美学 大久保清美 KATSUYAMA,Tomoo KOBAYASHI,Migaku OKUBO,Kiyomi
概　要		地球環境問題は21世紀における最大課題と言ってよいだろう。現代科学技術はこの課題と密接不可分の関係にある。言うまでもなく、先進諸国の近代化は科学技術に拠るところが極めて大きかった。しかし、科学技術の発展を無批判に容認できない事態も次々と発生してきた。種々の公害や温暖化などのいわゆる地球環境問題である。すなわち、科学技術の発展と飽くなき人間の欲求とが結びついて、20世紀後半以降における人間の活動量の飛躍的増大が、地球環境の許容限界を超え始めるに至っている。 本授業においては現代のこのような状況を踏まえ、様々な環境汚染問題の現象及び原因を認識し、またその問題解決のための方途を探求することによって、次代の科学技術を担う学生諸君の、科学技術者としての、また市民としての環境倫理の涵養に努めたい。合言葉は、”Think globally, act locally”である。なお授業形態は、３名の教員によるオムニバス形式とする。					
科目目標 (到達目標)		学生が、下記の授業計画に示すテーマ毎にその現状及び原因を認識・理解し、解決策を模索することにより、**環境倫理**を身に付けることを目標とする。					
教科書 器材等		必要に応じ、適宜プリント等を配布する。					
評価の基準と方法		各担当者１回ずつ、合計３回の試験の成績により評価する。60点以上を合格とする。					
関連科目		物理、化学、生物　他					
授業計画							
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)					
第 1回		オゾン層の破壊　－国際的な取り組み(1)－（小林）					
第 2回		酸性雨　　－国際的な取り組み(2)－（小林）					
第 3回		物質の循環　　－窒素循環を中心に－（小林）					
第 4回		ダイオキシン　　－化学物質の安全性－（小林）					
第 5回	×	まとめと試験（小林）					
第 6回		地球温暖化のメカニズム：　地球のエネルギー収支と温室効果（勝山）					
第 7回		地球の歴史：　温暖化がもたらす影響，地球の歴史（勝山）					
第 8回		生態系：　地球の生物環境と非生物環境，エネルギーと物質の循環（勝山）					
第 9回		生物多様性：　生態系と生物多様性，生物多様性国家戦略（勝山）					
第10回	×	まとめと試験（勝山）					
第11回		環境汚染の歴史（大久保）					
第12回		ドイツの環境政策（大久保）					
第13回		廃棄物問題と循環型社会（大久保）					
第14回		エネルギー問題（大久保）					
第15回	×	まとめと試験（大久保）					
オフィスアワー		授業日の放課後					
授業アンケートへの対応		概ね高い評価を得ているが、さらに魅力的な授業を目指す。					
更新履歴		110329新規					